

第3回目「すぐ使える医療英会話 2DAYS」 6月1日、6月2日 講座レポート

今回で第3回目の「すぐ使える医療英会話 2DAYS」ですが、無事終了いたしました。

受講者の皆様、ご参加いただき誠にありがとうございます。
毎回北海道から沖縄まで、全国各地からご来校いただきますが、今回もご遠方からご来校いただき大変嬉しい限りです。

参加できなかった方、講座にご興味がある方へ講座の内容・雰囲気を少しだけ紹介いたします。

〇スケジュール（6/1）※一部抜粋

- 12:00 自己紹介（英語でトライ）
講義：医学英語の基礎と覚え方
- 13:00 講義：患者初対面時の対応
ロールプレイ
- 14:00 講義：診療科の案内（行き方を案内する）
ロールプレイ
- 15:00 講義：問診、病歴聴取
ロールプレイ
- 17:00 終了

ミニ講義の後、各シチュエーションを想定したロールプレイを行います。
講義でミニレクチャー中も、単語・フレーズを実際に音読していただき、インプットしたものをすぐにアウトプット出来る、受講者様参加型の講座になっております。

〇講義資料について

講義資料は講師オリジナルの資料を使用します。

これは市販の教科書だと必要のない知識、また表現が古典的すぎて実際の現場で使わない表現が多く含まれているからです。
また受講者様の職種や要望により、講義内容を変更・追加することもございます。



今回も受講者様のリクエストにより、「電話対応」と「薬の説明」を追加いたしました！

また、英語の単語やフレーズと一緒に、「医学用語の構成」「各臓器の英語名称」等も説明しました。
どれも、現場で知っておくと役立つ知識ばかりです。丸暗記する必要は全くありません！
まずはご自身で必要な知識を重点的に覚えていただければと思います。

○英語のレベルについて

今回、語学レベルは「初級」～「中級」に設定しておりました。

実際にご参加された方は英語のレベルはそれぞれで、中級以上の方もいるため、「私が参加しても大丈夫ですか??」との不安の声を頂くこともあります。職種や英語レベルが異なるからこそ新たな発見が多くあると講師一同強く認識しております。周りの方と比較せず、ご自身に必要な知識・英語フレーズを習得していただければと思います。講座には、アシスタント講師も参加しており、マンツーマンサポートも行います。

○クラスの雰囲気

毎回3～9人までの少人数制のため、お一人に多く話す機会があります。今回もとても親しみやすい雰囲気の中で、多くの質問や意見が飛び交いました。2日目にはネイティブ講師（米国出身）がいたため、

「この表現はネイティブだったらどう表現する？」等のやり取りもありました。

（ちなみに今回は5人です。少人数です！）

以下は、ロールプレイのスク립ト（一部抜粋）です。

看護師：ありがとうございます。本日担当させていただきます看護師の〇〇です。

調子はいかがですか？

患者：まあまあね。

看護師：お腹の具合はいかがですか？

患者：食後に痛むわ。特に、辛い物を食べた後はとても痛い。

シチュエーションごとのロールプレイを用意しております。

教科書のフレーズを暗記するのではなく、ご自身で一から文章を作ることによって、英会話習得のスピードが格段にアップします。

他の方の英語表現を聞いて使えるフレーズの引出しを増やすこともできます。語学力に自信がない方は、アシスタント講師がマンツーマンでお手伝いします。

写真は講義内のロールプレイ練習風景です。



2日目はネイティブ講師も参加し、ロールプレイの相手役としてお手伝いいたしました。



2日目の修了ロールプレイです。終了ロールプレイにスクリプトはなく、**実際の場面さながらに、ご自身の言葉で、患者役のネイティブと、英語のみでやり取りをしていただきます。**



「紙に書いてあるスクリプトを英訳することはできるが、実際に自分の言葉でロールプレイを行うとなると、英語が出てこないですね。」との声を頂きました。実際の現場では緊張感も加わりさらに難しく感じるのではないのでしょうか。

**でも、大丈夫、「Practice makes perfect」
この練習が、きっと本番で役立ちます！**